

# はじめに

我が国においては、Society5.0時代の到来が予想され、急激な社会的変化が進む中、学校教育においては、子どもたちに、持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成することが求められています。

このような中、中学校では令和3年度から、新学習指導要領の全面実施を迎え、各学校では、「社会に開かれた教育課程」の理念の下、子ども一人一人に未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育むことができるよう、全教職員の協働によるカリキュラム・マネジメントの確立と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進め、教育活動の質の向上に取り組むことが大切です。

こうしたことから、本手引では、各学校が新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実施、とりわけ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善などについて、令和2年度の重点として具体的に取り組むことを示しました。

各学校では、校長のリーダーシップの下、全教職員が本手引に示された内容や取組について共通理解を深め、各学校の特色を生かした質の高い教育活動を推進するようお願い申し上げます。

令和2年3月

北海道教育庁学校教育局義務教育課長 中 澤 美 明

## 目次

### 総則

1 新学習指導要領の理念	P 1
2 主体的・対話的で深い学びの実現	P 3
3 学習評価の充実	P 5

### 各教科等

<input type="checkbox"/> 国語	P 8
<input type="checkbox"/> 社会	P 9
<input type="checkbox"/> 数学	P 10
<input type="checkbox"/> 理科	P 11
<input type="checkbox"/> 音楽	P 12
<input type="checkbox"/> 美術	P 13
<input type="checkbox"/> 保健体育	P 14
<input type="checkbox"/> 技術・家庭（技術分野）	P 15
<input type="checkbox"/> 技術・家庭（家庭分野）	P 16
<input type="checkbox"/> 外国語	P 17
<input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳	P 18
<input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間	P 19
<input type="checkbox"/> 特別活動	P 20

### 授業づくりの基本

5つの視点	P 22
〔視点1〕身に付けさせたい力を明確にした単元づくり	P 23
〔視点2〕「ねらい」から「まとめ・振り返り」までの1単位時間のデザイン	P 24
〔視点3〕全ての生徒の学習を深める授業技術	P 25
〔視点4〕全ての生徒が落ち着いて取り組める学習環境	P 26
〔視点5〕学びに主体性をもたせる家庭学習	P 27
〔参 考〕協働的な学びの充実のために	P 28

### Topics

「北海道教育推進計画」に示された目指すべき6つの目標と30の施策項目	P 30
1 特別支援学級の教育課程の充実	P 31
2 帰国・外国人児童生徒等教育の充実	P 33
3 キャリア教育の推進	P 35
4 教科等の指導におけるICTの活用	P 37

